

# 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る ワークショップ協議結果について



平成27年7月21日

第2回木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会



# ワークショップ協議結果について

## ①ワークショップの目的

現在、まちづくりや事業で活躍されているみなさまから、市や地域の課題及びこれまでと今後のまちづくりに対する意見・意向を伺い、市の実情に合った戦略にすることを目的とする。

あわせて、参加者間の交流により、新たな取組み（ビジネスモデル）の提案を目的とする。

## ②主な意見取りまとめ

| 分 野     | 意 見   |
|---------|---|
| 市の現況・課題 | <ul style="list-style-type: none"><li>○京都・大阪・奈良に近いポテンシャルを活かせていない</li><li>○観光関連のPR、行政情報の市内発信が課題</li><li>○観光や市民活動の「面白さ」が伝わっていない</li><li>○未活用の空き家や農地が残っている</li><li>○行政がおこなう取組みは、面白くない</li><li>○木津川ブランドの確立が必要</li></ul>   |
| 拠点づくり   | <ul style="list-style-type: none"><li>○イベントをする場所がない<ul style="list-style-type: none"><li>・若者たちが参加できる環境づくりが必要</li><li>・木津川を芝生公園化してはどうか</li></ul></li><li>○年中行事を受け継いでいく人材を創出・支援が大切</li><li>○当尾地域を活性化する必要がある<ul style="list-style-type: none"><li>・当尾小学校を地元野菜販売所等に活用してはどうか</li></ul></li><li>○市外からの観光客と市内の各地を結ぶ拠点機能が不足</li><li>○地域活動拠点（若者が集える場所、子育て活動の拠点等）が必要</li><li>○空き家を活用したカフェなどの整備が必要</li><li>○地場産業のPRや特産品の販売拠点（道の駅など）が必要<ul style="list-style-type: none"><li>・ただし、継続運営には、運営主体が課題となる</li></ul></li></ul> |

# ワークショップ協議結果について

| 分 野   | 意 見   |
|-------|---|
| 観光・PR | <ul style="list-style-type: none"><li>○女性を呼べば、多くの人が訪れるのではないか<br/>・女性の口コミの大切さ</li><li>○豊富な観光資源の間の連携とPRが不足している・わかりにくい</li><li>○観光用途にもコミュニティバスを活用してはどうか</li><li>○山城国一揆の歴史ストーリーを活用する</li><li>○キャッチコピー（気付いたか？）を付ける</li><li>○まちづくりのプロを呼んではどうか</li></ul> |
| 子育て   | <ul style="list-style-type: none"><li>○情報を入手したいが、情報が充実していない</li><li>○市の情報にまとまりがない</li><li>○SNSを利用し、情報発信の充実をするべき</li></ul>   |
| 農業    | <ul style="list-style-type: none"><li>○市外の所有者による荒廃農地が多い</li><li>○農業を拡大したい<br/>・助成金等の制限が厳しい</li><li>○農産物の提供はできるが、販売場所がない<br/>・集荷場機能がある拠点があれば良い</li><li>○健康を売りにしたスイーツの開発</li><li>○農産物を転入者にプレゼントして地産地消をPR</li></ul>                                  |
| 地場産業  | <ul style="list-style-type: none"><li>○壁紙について、大半はビニール製だが、ふすま紙が中国で人気<br/>・全国の8割シェア（ふすま紙）</li></ul>   |
| 学研企業  | <ul style="list-style-type: none"><li>○外国からの研究員などが宿泊する場所が無い<br/>・大阪で宿泊いただいている</li><li>○木津川市の土産がない</li><li>○昼食できる店舗も少ない</li></ul>  |

# ワークショップ協議結果について

| 分 野  | 意 見   |
|------|---|
| 婚活   | ○花嫁行列を復活させたい  |
| 空き家  | ○地域によっては、空き家が増加している<br>・高齢者が買い物に困っている<br>○カフェなどに利用してはどうか<br>・耐震などの課題がある   |
| 雇用創出 | ○事業の拡大について<br>・土地がない<br>○企業の進出が容易となるよう都市計画や規制・誘導の仕組みの見直しが必要<br>○荒廃農地等の活用を推進するとともに、特産品の多品目化が必要   |
| 公共交通 | ○交通インフラの整備が必要   |
| 情報発信 | ○市内でも知らない場所・地域資源がある<br>・転入者等に市政や取組み事業の情報提供システム構築<br>○災害が少ないまちとしてのPRをしては<br>・国宝が多い<br>○地域活動にかかるプロセス（確認→予約→活動）のワンストップ化<br>○HP等を活用し、民間も含めた分野別情報のわかりやすい一元化を |
| 推進体制 | ○市民は、初めから行政に頼らず、自力で頑張ることが重要<br>○行政は、取組みがしやすい土壤を作り、活動を支援することが重要<br>○どのような工夫をすれば実現できるかを考えることが重要   |